

国保みやざき

vol.6



大根やぐら（宮崎市）



宮崎県国民健康保険
イメージキャラクター
「オレンジくん」

CONTENTS

01 NEWS & TOPICS

- 求償事務の受託促進や円滑な事務処理に向けて
第三者行為求償事務に関する実地支援
- 情報セキュリティ意識の向上を図る
ISMSセキュリティ研修
- 宮崎県がKDB補助システム「DHパイロット」操作研修を実施

02 情報ひろば

03 国保連行事予定（10月～12月）

求償事務の受託促進や円滑な事務処理に向けて

● 第三者行為求償事務に関する実地支援

求償事務の受託促進や事務の円滑化をより一層図ることを目的に、第三者行為求償事務に関する実地支援を6月から9月にかけて、要望のあった20保険者を対象に行いました。

実地支援では、事前に受けた質問に対する回答を行ったほか、国保中央会等が作成した覚書のリーフレット、事例集、求償事務フロー及び支援先保険者の受託案件の経過等について説明を行いました。

保険者を個別に訪問することにより、日頃から担当者が抱えている課題や疑問について意見交換を行うことができ、担当者との連携を図る上で有意義な実地支援となりました。

また、11月開催予定の第三者行為求償事務担当者研修会は、今年度もWeb会議形式となりますが、こちらにも保険者の事務処理の円滑化に寄与できる研修となるように準備を進めておりますので、ご参加ください。



お問い合わせ先 保険者支援課 求償係
TEL 0985-25-5101/ FAX 0985-31-4388
E-mail: kyusho@kokuhoren-miyazaki.or.jp

情報セキュリティ意識の向上を図る

● ISMS[※]セキュリティ研修

9月6日(火)、本会で情報セキュリティに関するコンサルティングを委託している株式会社宮崎県ソフトウェアセンターから講師を招き、本会管理職職員等を対象に、ISMSセキュリティ研修を実施しました。

研修会では、情報セキュリティの必要性や、リスクマネジメントの方法、実際のセキュリティ事故事例、事故後の対応などについて講義を受けました。

本会では、レセプト情報等、非常に重要な情報資産を数多く取り扱っており、情報セキュリティをより強固なものとするため、令和2年2月にISMS認証を取得し、今年で3年目を迎えます。

今後もISMSの運用・改善及び職員のセキュリティ意識の向上に努めてまいります。

※ISMS：情報セキュリティマネジメントシステムの略称であり、個別の技術的対策のほか、組織のマネジメントとして必要なセキュリティレベルやプラン等を設定し運用する仕組みのこと



研修を受講する様子

お問い合わせ先 総務企画課 企画調査係
TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359
E-mail: kikaku@kokuhoren-miyazaki.or.jp

宮崎県がKDB補助システム「DHパイロット」操作研修を実施

9月2日（金）本会4階大会議室にて宮崎県の主催により、KDB補助システム「DHパイロット」操作研修が開催されました。

県内25市町村と日南保健所の62名が集まり、実機を使って研修が行われました。

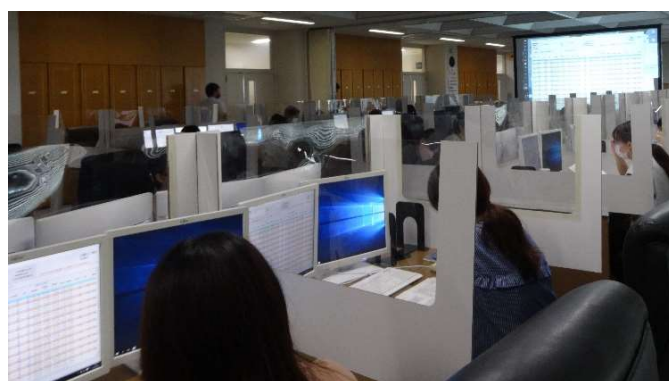
DHパイロットはKDBシステム情報を補助する目的で令和4年度に導入されたシステムであります。

機能解説や基本操作について、株式会社ウェルクル（DHパイロット開発業者）の岡本隆氏が説明をされました。

内容としては、「糖尿病治療中断者の抽出方法」や「みなし健診対象医療機関の抽出方法」などそれぞれの保険者における課題解決に向けたシステムの具体的な活用方法の説明がありました。特にみなし健診対象医療機関の抽出では、医療機関を定期受診しているが、特定健診を受けていない対象者をリストアップできる機能の活用などの事例を紹介し、具体的な事例を用いた有意義な研修でした。



本会でも、実地支援にてKDBシステムの操作研修を行っており、引き続き、保険者の支援に努めて参ります。



研修の様子

KDBシステム（国保データベースシステム）

国保連合会が業務を通じて管理する情報（医療、介護、特定健診・特定保健指導の情報）を保険者に提供することにより、保険者の保健事業をサポートするシステム。

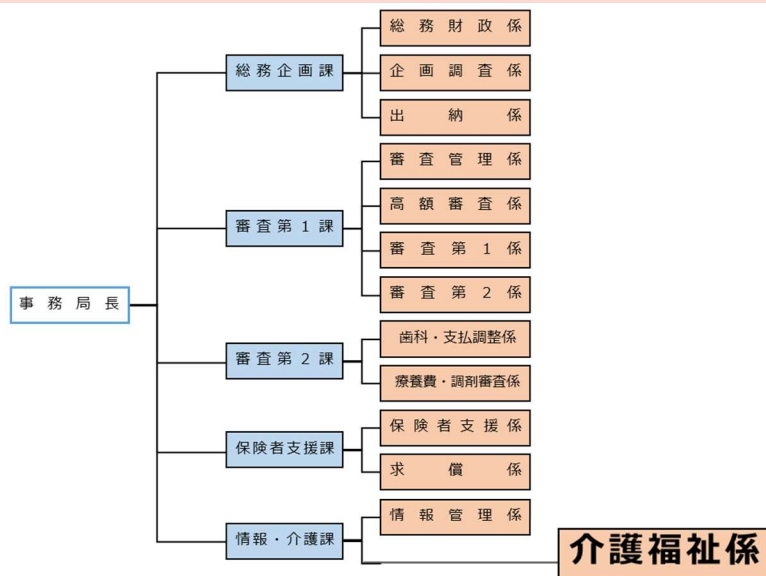
DHパイロットシステム

KDBシステムと併せて活用することにより、KDBの情報を補助するシステム。

お問い合わせ先 保険者支援課 保険者支援係
TEL 0985-25-5208 / FAX 0985-31-4388
E-mail: jigyou2@kokuhoren-miyazaki.or.jp

NEWS&TOPICS

宮崎県国保連合会のお仕事紹介

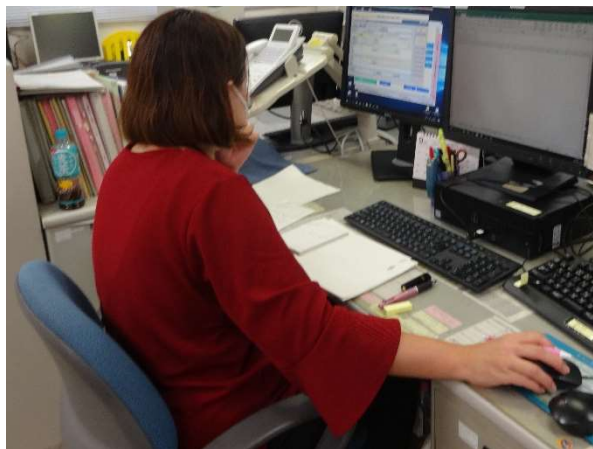


本会のお仕事を紹介します。
今回紹介するのは情報・介護課
介護福祉係です。



所属

情報・介護課 介護福祉係



介護レセプトをチェックしている様子

主な業務内容

- ・介護給付費等の審査支払
- ・障害者総合支援および障害児総合支援給付費の審査支払
- ・介護サービス利用者・家族からの苦情相談

等々

係の雰囲気

チームとしてお互いを支えることができ、気兼ねなく質問できる雰囲気です。

仕事のことだけでなく、なんでも相談できる温かい雰囲気です。

日頃から心がけていること

- ・適正かつ公正な審査支払を実施するため、丁寧かつ効率的な業務運営。
- ・県および市町村と連携を図り、介護被保険者が安心してサービスの提供が受けられる環境づくり。

仕事のやりがい

介護保険制度等の円滑な制度運営への寄与や奥深さを感じます。

また、コミュニケーションがしっかりと図られている環境のため挑戦することもでき、日々やりがいを感じます。

お問い合わせ先 総務企画課 企画調査係
TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359
E-mail: kikaku@kokuhoren-miyazaki.or.jp

後期高齢者医療広域連合通信

●宮崎県後期高齢者医療広域連合議会（令和4年8月）議決事項のお知らせ。

◆令和3年度決算

（単位：千円）

	歳入	歳出	差引残高
一般会計	206,955	200,963	5,992
後期高齢者医療 特別会計	165,588,163	158,226,337	7,361,826
合計	165,795,118	158,427,300	7,367,818

端数処理の関係で決算書（円単位）とは数字が異なります。

◆令和4年度補正予算（第1号）

（単位：千円）

	補正前	補正額	合計額	伸び率（%）
一般会計	213,667	5,991	219,658	2.8
後期高齢者医療 特別会計	155,840,881	7,338,640	163,179,521	4.7
合計	156,054,548	7,344,631	163,399,179	4.7

【特別会計】

- ・国県市町村及び支払基金への償還金（5,497,590千円）
- ・保険給付費等準備基金への積立金（1,833,988千円）

※そのほか、債権放棄の報告などを行っています。

※議会の会議結果や会議録については、宮崎県後期高齢者医療広域連合ホームページ
(<https://www.miyazaki-kourei-kouiki.jp/>)をご覧ください。

情報ひろば

後期高齢者医療の 被保険者証が 切り替わります

令和4年
10月1日から



だいたい色に切り替わります

開いた状態(表側)



(裏側)



医師提供意思表示欄

- 制度改正により、10月1日より窓口負担割合3割の方を除いて、一定の所得がある方は、医療費の窓口負担割合が2割になります。
- 9月下旬までにご本人あてに届きます
- 届きましたら、住所・氏名・生年月日をご確認ください
- 病気やけがで継続して診療機関で診療を受ける方は、毎月はじめに被保険者証を必ず提示しましょう

被保険者証は、なくさないよう大切に保管してください

お問い合わせは、お住まいの市町村担当窓口か宮崎県後期高齢者医療広域連合へ
宮崎県後期高齢者医療広域連合 電話 0985-62-0921

情報ひろば

こくほ随想 令和5年度予算概算要求

日本年金機構 副理事長（元厚生労働事務次官）

樽見 英樹

先月も書いたとおり、8月末は予算の概算要求の締め切りである。今年も、厚生労働省の令和5年度予算の概算要求が財務省に提出された。要求額33兆2644億円、令和4年度予算と比較して6340億円の増額である。

社会保障関係費は政府の一般歳出全体の5割を超えるレベルであり、社会保障というものがいかに我が国において大きな役割を担っているかを示している。しかし、その内訳を見ると、毎年の予算で「今年の新規事業は何」と言えるような、いわゆる裁量的経費ではなく、年金、医療等の各制度において国が義務的に負担することとなっている金額が大きい。したがって社会保障予算においては、時には法律改正を含む制度面での見直しをどう構想するかということが、大きな要素となってくる。

令和5年度予算概算要求に向けては、高齢化等に伴う年金、医療等の経費のいわゆる自然増が5600億円と推計され、今回の概算要求においてもそれを全て要求する形となっているが、これは年末の政府予算案決定の際には大きく圧縮される。ここ数年は、「高齢化による増加分におさめる」との考え方の下に圧縮が図られてきている。その際、年金制度においては人口構成の変化を給付に反映させる仕組みが「マクロ経済スライド」として既にビルトインされているので、医療に関わる部分をどうするかが主な課題となる。例えば令和4年度予算では、

いわゆる自然増6600億円が年末の政府予算案の段階で4400億円増に圧縮されている。薬価や診療報酬の改定、後期高齢者医療における（高所得者の）患者一部負担増などによって増加を抑えたわけである。令和5年度予算においてはどうか、診療報酬改定は2年に1度で、令和5年度には予定されていない。薬価改定を含めてどう対応するかを年末までに決着しなければならない。

さて、今回概算要求の重点事項を見ると、やはり新型コロナウイルス感染症の関係が目につく。ワクチン接種体制の確保、治療薬の確保、医療提供体制の確保などだが、医療・介護分野におけるデジタル化（DX）の推進にも大幅な増額が要求されている。新型コロナでの経験を踏まえて、患者の利便性の向上と医療の質の向上のために、接種記録のデジタル化から更に進んで、個々の医療におけるデータの共有と活用や、研究面におけるデータベースの活用・充実のための取組が期待される。地域医療構想や医師偏在対策、医療従事者の働き方改革についても増額が盛り込まれているが、患者がそれぞれの地域で安心して医療を受けられることの大切さを改めて痛感したのが新型コロナの経験であったと思う。医療の質を守りつついかに効率化するかが、いよいよ問われている。

雇用の分野では成長と分配の好循環に向けた「人への投資」についての要求が今年度に続き、更に増額する形で盛り込まれた。

人材の育成、そして女性・高齢者・障害者など多様な人材の活躍促進を図るだけでなく、必要な分野に円滑な労働移動を図ることも「コロナ後」の経済社会の課題であり、そのための支援の強化も盛り込まれている。

概算要求におけるもう一つの柱は「安心できる暮らしと包摂社会の実現」となっている。コロナ禍でテレワークを経験し、住み慣れた地域で安心して暮らせることの意義というものを改めて考えた人も多かったのではないだろうか。地域社会というもの

は本来、機能集約による効率化というものの対極にあり、そのことが、一定の煩わしさは伴うかもしれないが、相互の助け合いによる生活機能の維持や日々の生きがいにつながっている、というのは私の意見で概算要求書に書いてあるわけではないが、ともあれ、地域共生社会の実現に向けた施策の強化を継続することは、現在の我が国にとってとても重要なことなのである。

(記事提供 社会保険出版社)

【プロフィール】

樽見 英樹

(たるみ ひでき)



生年月日 1959年11月21日

日本年金機構 副理事長

元厚生労働事務次官

【学歴】

1983年3月 東京大学法学部卒業

【職歴】

1983年4月 厚生省入省

1993年5月 在米国日本国大使館一等書記官

1998年4月 北海道保健福祉部高齢者保健福祉課長

2004年7月 総務省行政管理局管理官

2008年7月 社会保険庁総務部総務課長

2012年9月 厚生労働省大臣官房人事課長

2013年7月 厚生労働省大臣官房年金管理審議官

2016年6月 厚生労働省大臣官房長

2018年7月 厚生労働省保険局長

2019年7月 厚生労働省医薬・生活衛生局長

2020年3月 内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長

2020年9月 厚生労働事務次官

2021年10月 厚生労働省退官

2022年1月 日本年金機構 副理事長

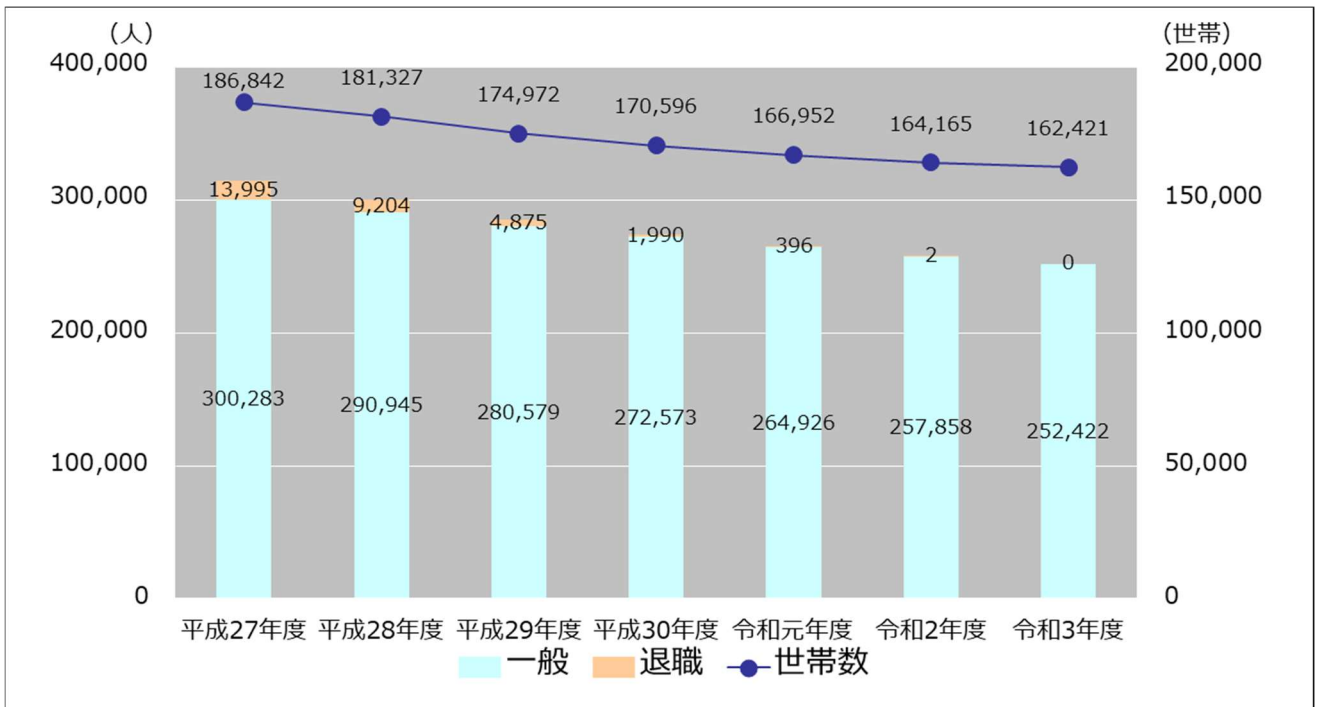


データコーナー

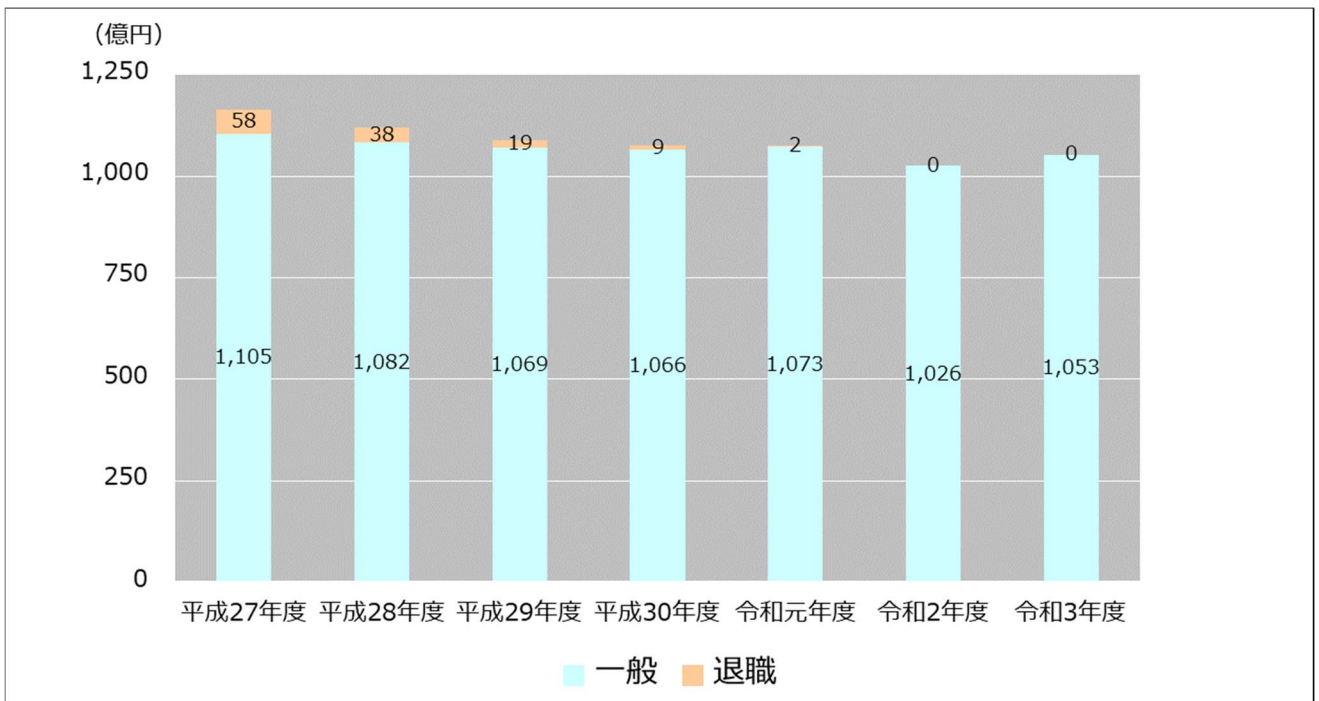
こくほデータ

(注) 数値は、国保事業年報より

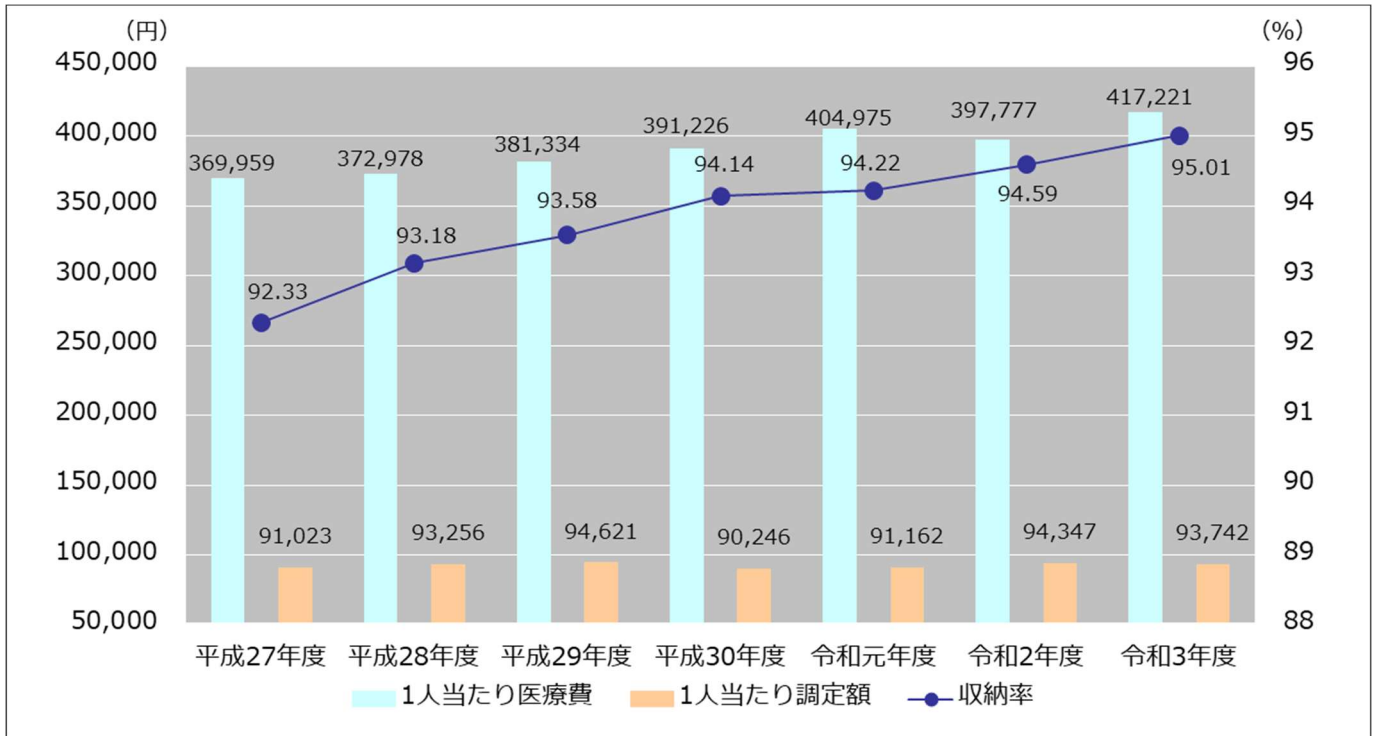
●年間平均被保険者数および世帯数（市町村分）



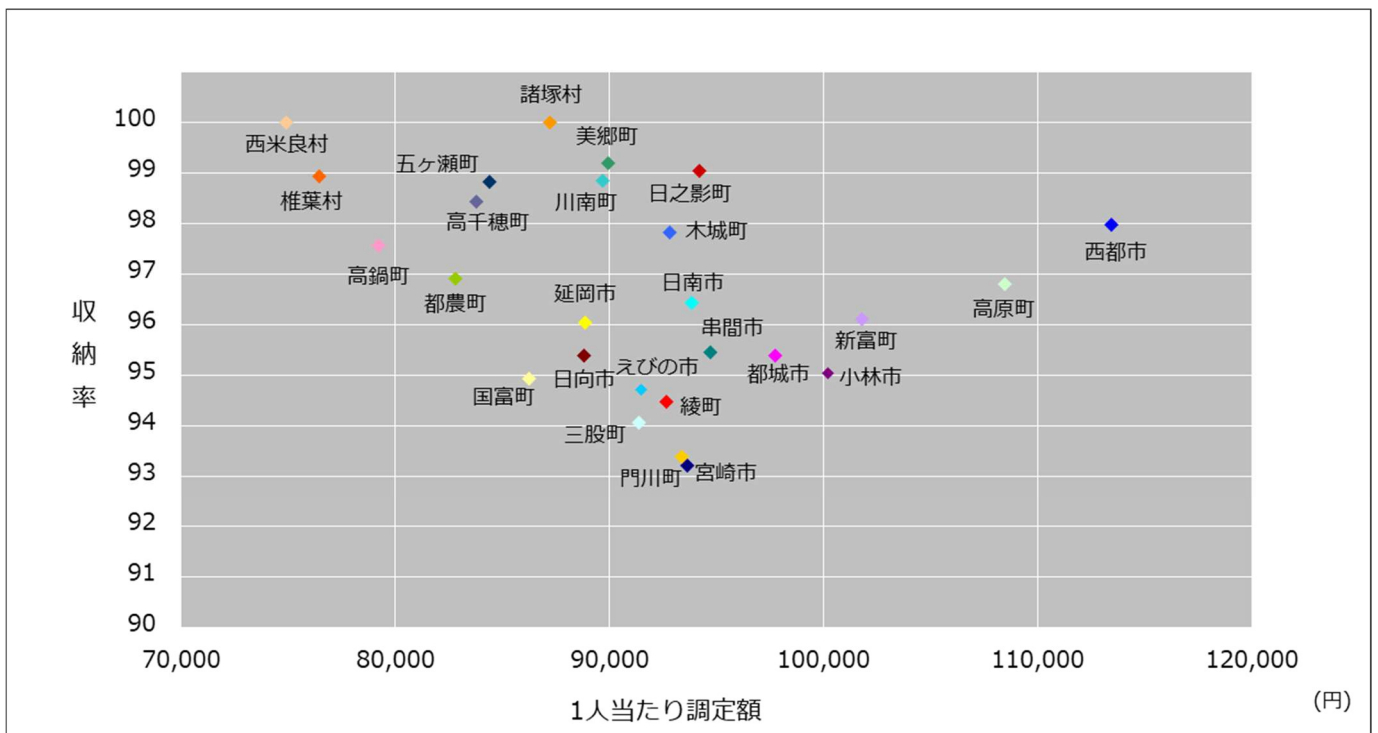
●国保医療費の推移（市町村分）



● 1人当たり医療費・調定額および現年度分収納率状況（市町村分）



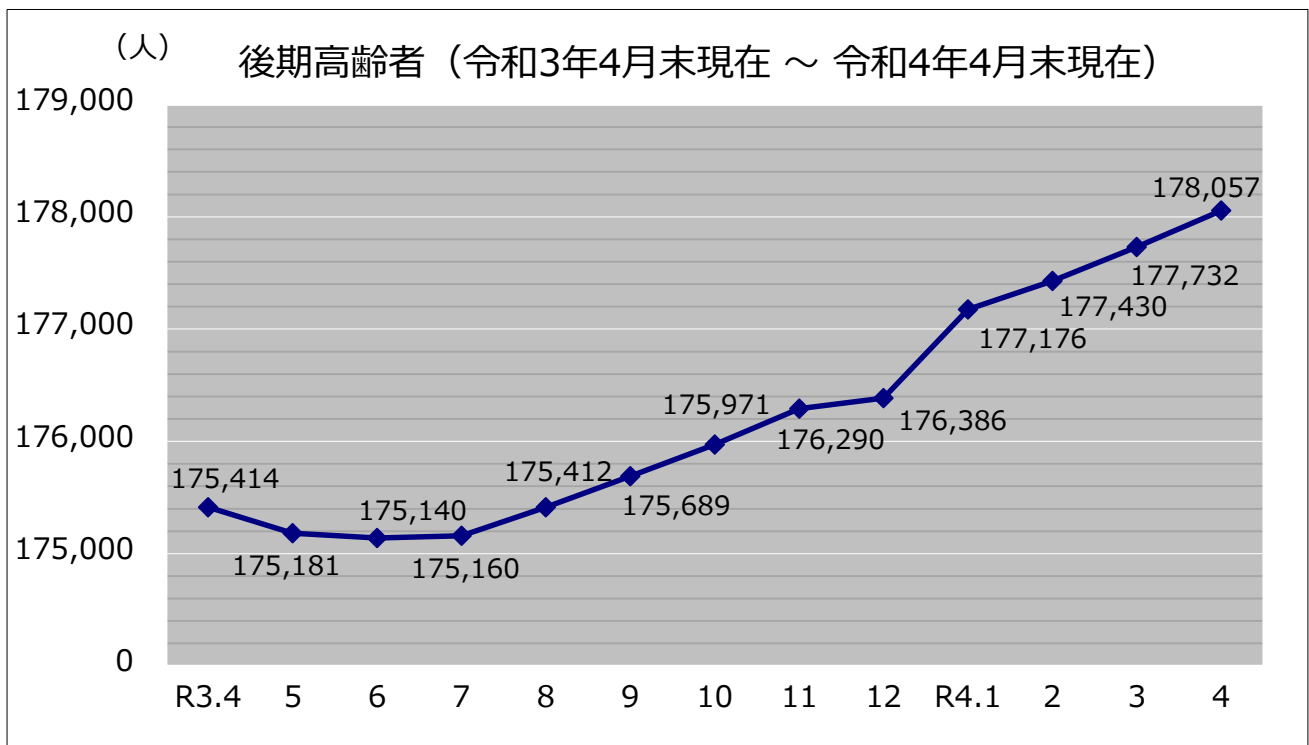
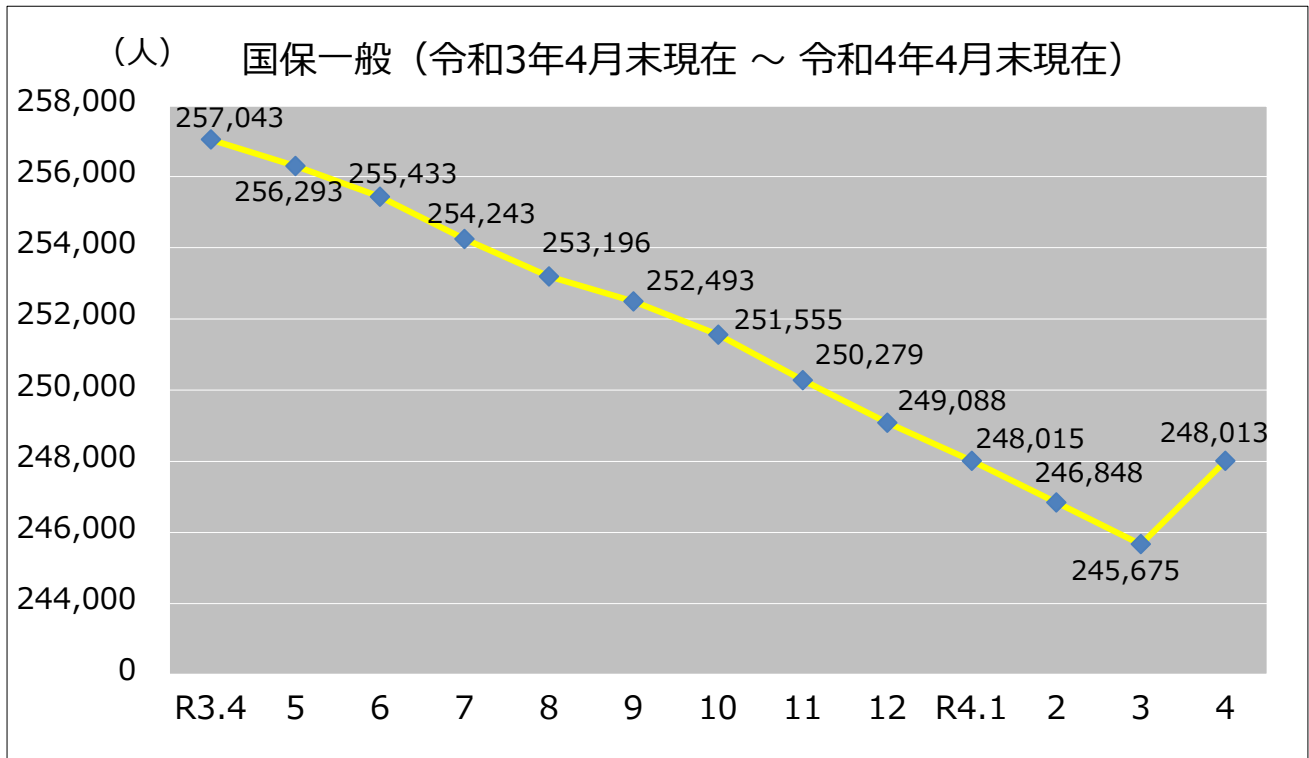
● 令和3年度 市町村別保険税1人当たり調定額と現年度分収納率状況



医療費データ

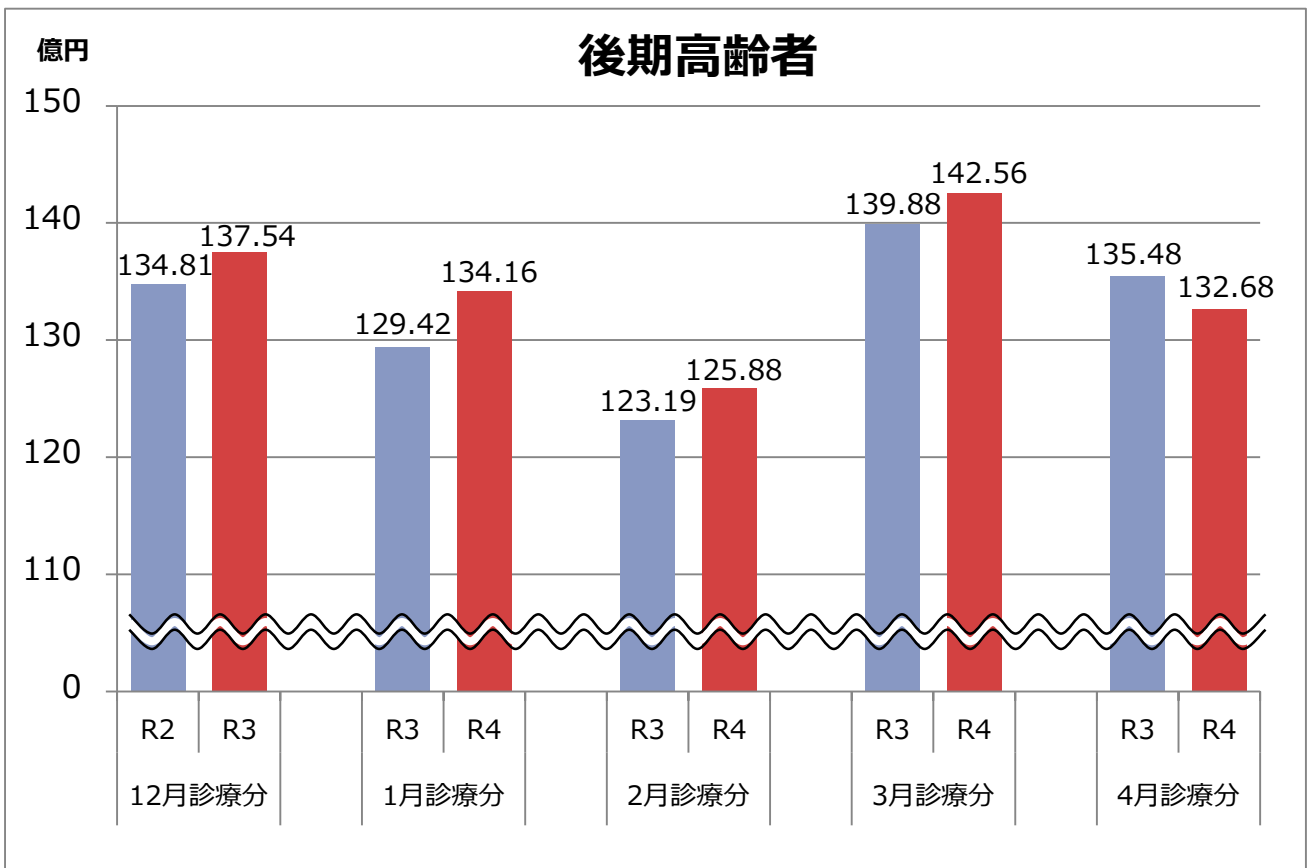
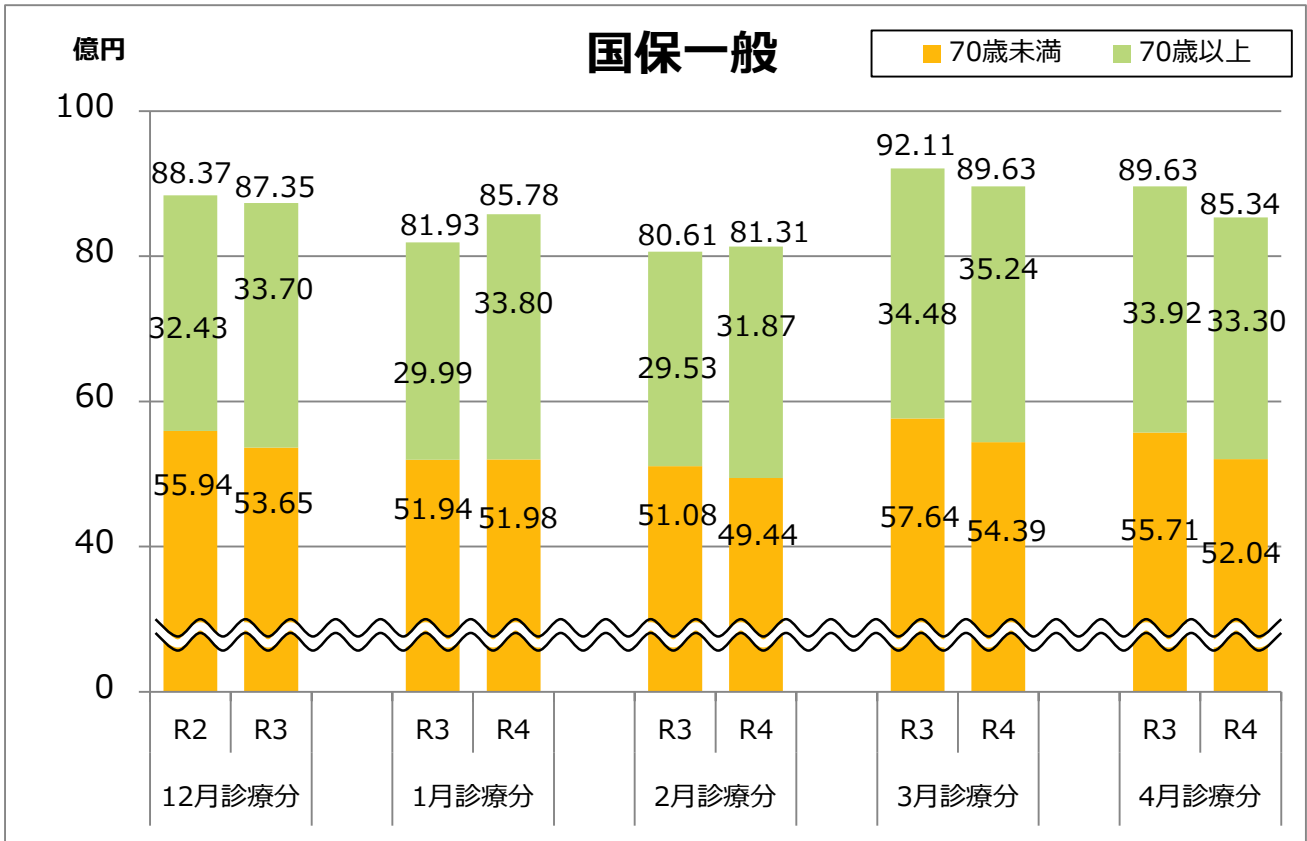
(注) 数値は、市町村月報集計（速報値）および宮崎県後期高齢者医療広域連合からの提供

●被保険者の推移



情報ひろば

●月別医療費

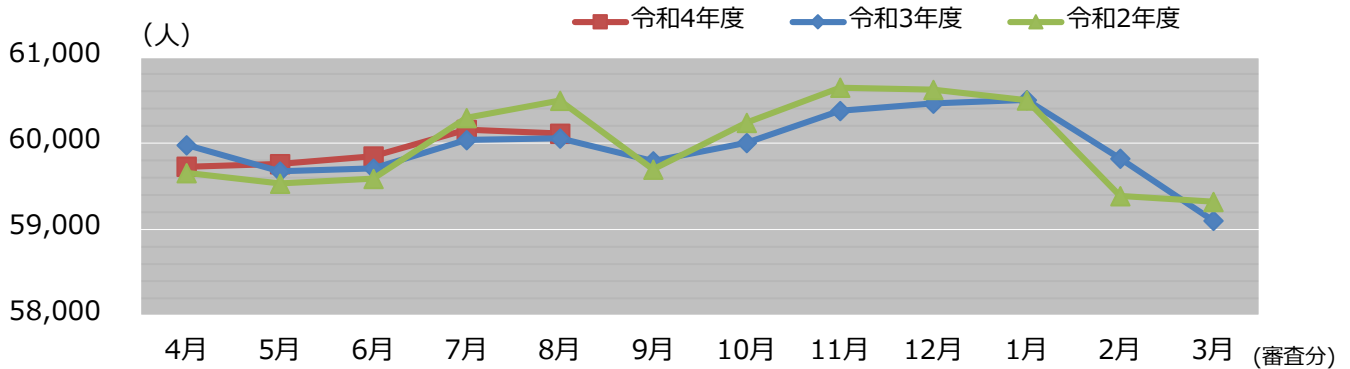


●国保 1人当たりの医療費（令和4年3月～令和4年4月診療分）

市町村	1人当たり医療費（円）				前年度比（%）
	令和3年3月～令和3年4月		令和4年3月～令和4年4月		
		順位		順位	
宮崎市	66,628	20	66,805	19	100.3
都城市	71,611	14	72,143	13	100.7
延岡市	70,030	15	68,138	16	97.3
日南市	84,553	5	85,187	2	100.7
小林市	78,366	9	81,733	5	104.3
日向市	72,030	13	75,912	12	105.4
串間市	81,188	8	76,571	11	94.3
西都市	67,896	17	67,878	17	100.0
えびの市	86,632	4	78,326	9	90.4
三股町	75,188	10	71,192	14	94.7
高原町	84,219	6	81,826	4	97.2
国富町	67,637	19	61,413	24	90.8
綾町	69,851	16	62,471	23	89.4
高鍋町	73,241	12	78,645	6	107.4
新富町	65,754	21	63,163	22	96.1
西米良村	94,852	2	70,401	15	74.2
木城町	65,650	22	67,419	18	102.7
川南町	59,940	24	61,315	25	102.3
都農町	67,805	18	63,275	21	93.3
門川町	73,902	11	78,588	7	106.3
諸塚村	59,642	25	58,027	26	97.3
椎葉村	50,642	26	66,502	20	131.3
高千穂町	82,191	7	78,490	8	95.5
日之影町	97,228	1	90,332	1	92.9
五ヶ瀬町	64,309	23	77,845	10	121.0
美郷町	88,116	3	82,410	3	93.5
市町村平均	71,051		70,884		99.8

お問い合わせ先 情報・介護課 情報管理係
 TEL 0985-25-5289 / FAX 0985-25-6348
 E-mail:jyuhou@kokuhoren-miyazaki.or.jp

介護保険だより



介護保険データ (令和4年4月審査分～令和4年8月審査分)

保険者名	確定件数状況			介護給付費 (総合事業を含む)			
	R3.4月～R3.8月	R4.4月～R4.8月	前年同月比	R3.4月～R3.8月	R4.4月～R4.8月	前年同月比	順位
	確定件数合計	確定件数合計	(%)	給付費合計(円)	給付費合計(円)	(%)	
宮崎市	218,834	226,523	103.5	13,639,773,107	13,791,713,638	101.1	3
都城市	109,502	107,704	98.4	6,841,083,265	6,627,110,576	96.9	18
延岡市	83,306	83,175	99.8	5,397,872,256	5,266,147,790	97.6	15
日南市	35,766	35,415	99.0	2,554,716,353	2,476,917,651	97.0	17
小林市	29,929	29,389	98.2	2,216,576,988	2,171,499,783	98.0	11
日向市	26,322	25,902	98.4	2,021,291,256	1,983,114,013	98.1	10
串間市	11,134	11,052	99.3	954,477,455	906,906,723	95.0	25
西都市	18,527	18,633	100.6	1,473,564,318	1,461,781,028	99.2	7
えびの市	15,713	15,488	98.6	1,228,854,200	1,181,717,448	96.2	21
三股町	12,564	12,922	102.8	830,164,001	804,105,710	96.9	18
高原町	6,085	6,126	100.7	487,919,258	477,415,764	97.8	13
国富町	12,806	12,742	99.5	906,258,748	868,551,634	95.8	23
綾町	4,114	3,977	96.7	335,116,319	325,390,345	97.1	16
高鍋町	9,344	9,797	104.8	687,783,676	683,853,277	99.4	5
新富町	6,862	6,838	99.7	574,612,952	567,506,453	98.8	8
西米良村	623	613	98.4	65,371,167	63,900,256	97.7	14
木城町	3,054	3,152	103.2	253,168,196	262,380,753	103.6	2
川南町	7,510	7,397	98.5	616,565,392	608,532,277	98.7	9
都農町	5,035	4,897	97.3	393,404,026	390,471,014	99.3	6
門川町	9,808	9,401	95.9	615,957,507	586,411,577	95.2	24
諸塚村	1,100	1,101	100.1	97,006,083	95,026,434	98.0	11
椎葉村	1,895	1,953	103.1	149,255,827	165,416,862	110.8	1
高千穂町	7,120	7,436	104.4	553,950,397	552,139,263	99.7	4
日之影町	2,559	2,304	90.0	270,488,376	247,140,729	91.4	26
五ヶ瀬町	1,995	1,924	96.4	169,644,440	163,085,491	96.1	22
美郷町	4,645	4,430	95.4	379,159,728	366,190,211	96.6	20
市町村計	646,152	650,291	100.6	43,714,035,291	43,094,426,700	98.6	

- * 確定件数・給付費は、国保連合会審査支払データによる。
- * 給付費合計…介護給付費、特定入所者介護サービス費、高額介護サービス費および総合事業費の合計。
- * 前年度伸び率は、令和3年度を100とした場合の%の表示。

お問い合わせ先 情報・介護課 介護福祉係
 TEL 0985-35-5111 / FAX 0985-25-0260
 E-mail: kaigo@kokuhoren-miyazaki.or.jp

情報ひろば

国保連行事予定（10月～12月）

●10月

日	曜	行事	場所
14	金	柔整審査委員会	国保連 本館 2階第2会議室
20	木	国保審査小委員会	国保連 本館 2階第2会議室
		国保審査委員会（～24日）	国保連 本館 4階大会議室
24	月	国保合同審査委員会	国保連 本館 4階大会議室
25	火	あはき審査委員会	国保連 本館 2階第2会議室
29	土	第33回宮崎県国保地域医療学会	シーガイア・コンベンションセンター 4階「蘭玉」

●11月

日	曜	行事	場所
8	火	宮崎県市町村国保運営協議会委員研修会	国保連 本館 4階大会議室
10	木	レセプト受付日	国保連 本館 1階ライブラリー室、東別館 1階受付窓口
16	水	柔整審査委員会	国保連 本館 2階第2会議室
18	金	国保制度改善強化全国大会	砂防会館 別館 1階「シェンバツハ・サポー」（東京都）
		国保審査小委員会	国保連 本館 2階第2会議室
		国保審査委員会（～22日）	国保連 本館 4階大会議室
22	火	国保合同審査委員会	国保連 本館 4階大会議室
24	木	あはき審査委員会	国保連 本館 2階第2会議室
28	月	第三者行為求償事務担当者研修会	国保連 本館 1階ライブラリー室（Web会議）

●12月

日	曜	行事	場所
10	土	レセプト受付日	国保連 本館 1階ライブラリー室、東別館 1階受付窓口
15	木	柔整審査委員会	国保連 本館 2階第2会議室
17	土	国保審査委員会（～21日）	国保連 本館 4階大会議室
19	月	国保審査小委員会	国保連 本館 2階第2会議室
21	水	国保合同審査委員会	国保連 本館 4階大会議室
22	木	あはき審査委員会	国保連 本館 2階第2会議室

昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性の皆様へ！ 風しんの追加的対策へのご協力をお願いします

●これから生まれてくる子どもを守るために！

妊娠中の女性が風しんに罹った場合、おなかの中の子どもに下図に示す症状や障害など（先天性風しん症候群）が見られることがあります。



出典 政府広報オンライン HP

皆で風しんを予防することが子どもを守ることに繋がります。
パートナーとのお子さんや地域や職場内での予防のためにご協力をお願いします。



●宮崎県の風しんの追加的対策（抗体検査）実施状況

宮崎県内での実施状況（平成 31 年 4 月～令和 4 年 8 月）	
対象者数※1	112,293 人
抗体検査数※2	27,588 件
抗体検査進捗率	24.6 %

※1 参考：厚生労働省資料より

※2 本会確定件数

健康診断を受ける医療機関や健診機関で、普段の診断項目と一緒に風しん抗体検査を受ける方もいらっしゃいます。
健康診断をこれから受ける方は、ぜひ風しん抗体検査もお考えください。

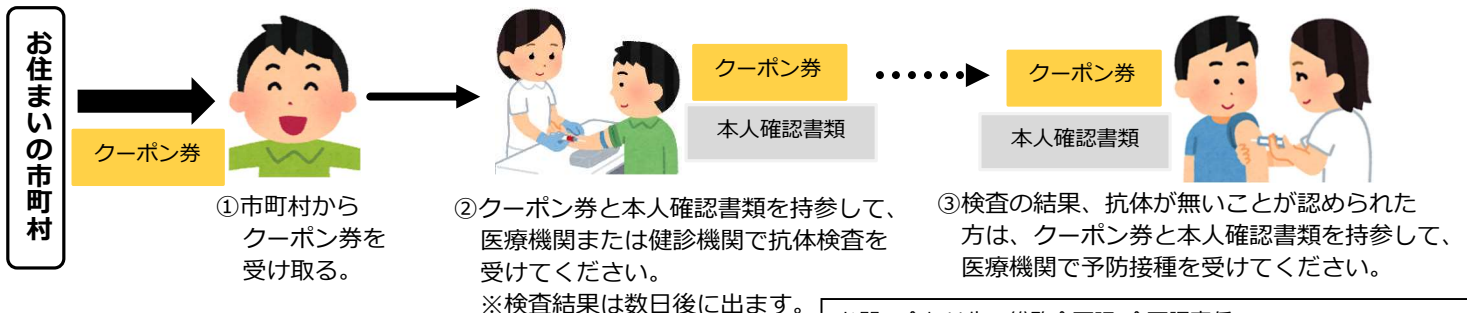


風しんの追加的対策とは

2018 年に風しん患者として届け出された患者のうち男性が約 8 割を占め、中でも 30 代から 50 代の男性に多いことが指摘された。この原因として、昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性は、定期接種の機会が 1 度もなく、抗体保有率が低い（免疫が弱い）方が多いことや感染しやすい職場環境に置かれている方が多いなどが考えられる。

そのため、昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性に対し、抗体検査、予防接種を実施するもの。

●風しんの追加的対策の受診方法



お問い合わせ先 総務企画課 企画調査係
TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359
E-mail: kikaku@kokuhoren-miyazaki.or.jp

イベント用機材等の貸し出し

市町村の皆さまが実施する健康まつりやイベントなどで活用できます。
詳しくは、本会ホームページをご覧ください。

貸し出し品一覧

- オレンジタイム DVD
- オレンジくん着ぐるみ
- 体組成計
- もの忘れ相談プログラム
- ライフコーダEX（生活習慣記録機）
- チェッカーくん（足指力測定器）
- マイクロCOモニター（呼吸ガス分析装置）
- 健康パネル
- のぼり
- はっぴ
- テーブルクロス
- ロールアップバナー

皆さんのまちへ、
ボクを呼んでください！



宮崎県国民健康保険イメージキャラクター
「オレンジくん」

Orange Smile 国保みやざき vol.6
オレンジスマイル

宮崎県国民健康保険団体連合会

〒880-8581 宮崎市下原町 231-1

ささえる。
つながる。

TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359

https://www.kokuhoren-miyazaki.or.jp

国保はみんなの健康づくりを応援します。

